



法の光 (法光山 妙勝寺 通信) No.237

2019年(平成31年) 9月 1日発行

文責 大岩 清人

— 妙勝寺本堂と枝垂れ桜 —

涼しいお盆法要 報告

今年の夏はことのほか蒸し暑く、熱中症が懸念される気象でしたが、本堂のエアコン導入により大変涼しい法要が営めました。子供さんやご家族でお参り頂いた方も多く、涼しい堂内が何よりだったのです。

小生は衣・袈裟・燕尾(帽子)を着けていますので、涼しいところまではいきませんでした。汗だくにならずに済みました。秋彼岸でもエアコンは活躍しそうです。皆さんの勧募のお陰と感謝致します。



秋の彼岸法要のご案内

9月26日 13:00より 本堂にて

彼岸に渡った人は、此岸の世界をどう見ているのでしょうか。あたかも親が子を見るが如く見守ってくれているのでしょうか。想いは此岸に向けてです。

此岸から彼岸に旅立った人のことを思います。浄土で先行きし家族や友達と楽しく穏やかにされていますか。もっと一緒に居たかったのに・・・と想いながら。

お墓参りと共にご先祖供養にお参り下さい。

今年の棚経から

◎「お上人さん。体大丈夫ですか？」「この通り元気です。」と手短に経緯を話しお礼を言いました。皆さん心配頂きありがとうございます。

◎神戸の棚経で檀家さんとの話です。「私も20年前に同じ手術を受けました・・。」色々話すと経験者だけに参考になるお話です。その中で二人に共通していることが判明。それは汗かきだということです。小生はご飯を食べても汗をかくことがあります。チョット動けばシャツは汗でびしょりです。汗は体温を調節してくれる・・のですが、これだけ汗をかけば血中の水分が少なくなり、血はドロドロになっているのではなかろうか・・。その為に血管内にコレステロールや脂肪が沈着して血管の内膜が厚くなり、血管内がせまくなるのでしょうか。しかし、困った。汗かきはどうしようもない。動けば汗をかくし、ジーンとしているしかない。血のさらさらになる薬を飲むようになりましてから大丈夫なのでしょうか・・。

◎宍粟市北部の三方町は戦前まで鉱山や山林事業で栄えた町でした。今は静かな町の檀家さんの家でお経をあげながら気付いたことがあります。お経の声よりも大きくミンミンゼミが窓の外で鳴いています。アブラゼミもニイニイゼミの声も重なるように聞こえるのです。「あれ～クマゼミの声がない。」山崎では今やクマゼミの声がやかましいくらいに聞こえます。「この辺は、昔からのゼミの生態があるようですね。山崎は暖地性のクマゼミが増えて温暖化を鳴き声から知らされます。」

◎たつの市の檀家さんのお参りに行くと近くに用水路が流れいます。そこでなにやら洗っておられる方に声を掛けました。「用水が便利で良いですね。」「はい。メダカの水槽を洗ったり、^{かどさき}門前に水まきしたり便利です。この用水は昔、鮎もウナギも上がってきましてね～、その頃は石垣の用水だったんですが、今はコンクリで流れが速いと隠れる穴(エダ)が無くなって魚がいなくなりました。」

◎「暑い夏ですね～」皆さん口にされました。お盆が近づくと益々蒸し暑さが増し、とうとう本堂内部が朝6時前にもかかわらず30度を超えました。それも南北の戸を網戸にしていたにもかかわらずです。8月14日(水) 5:54 一番下の数字は温度30.4度 湿度58%です。(赤丸内)



◎「お上人さん。年やでもうあかんわ。しんどいわ。その時は頼みます。」と元気な声でお願いされました。

◎ 13 日の夜、山崎では納涼花火大会が 20 時から始まった。「ド〜ン。ド〜ン。」の音と綺麗な花火が山影を背に打ち上がる。「花火始まったし、お参りどうしようかな〜？」と思案していると電話。「お待ちしています。参って下さい。」急いで駆けつけてお佛壇の前に。花火の音でお経と木鉦の音がかき消された。

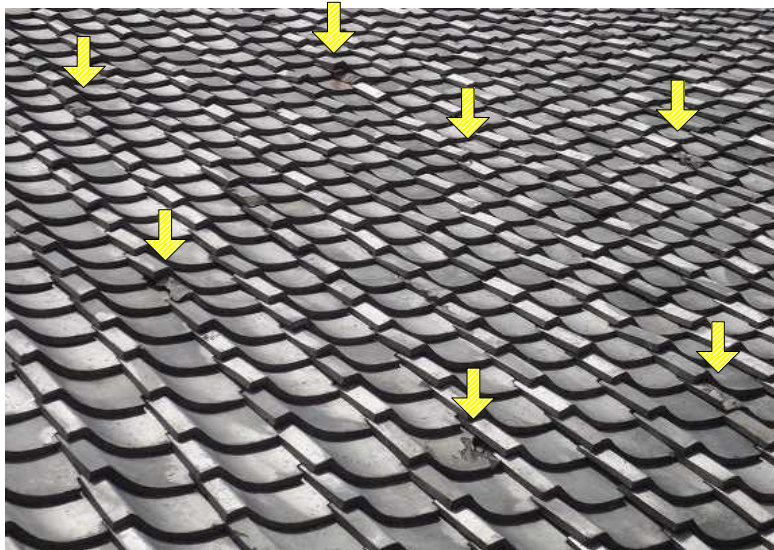
◎ 15 日に台風西日本上陸。最近 TV で警戒情報を出すようになった。雨風がひどくなりお参りどころではなさそうだ。14 日中にみんなお参りしよう。大変だったが何とか周り切れた。15 日朝「あれ〜雨降ってない。風吹いてない。」

◎「お孫さんが増えていますね〜。おめでとうございます。」「えらいことですね。佛さんの道具を高いところに避難させてます。」「子供は佛具に触りたがります。少しの間です。気を付けて十分お世話をして下さい。」

◎「人生色々な事がありますね〜人ごとと思っていたことが我が家にも降り注いだんです。」と辛いお話をされました。「色んなお話を聞きます。その家その家で悩み事がありますよ。外から見ていると穏やかで何も無いように見えますが、内実は違うようです。」「そうですね。頭でその事をわかっているけど自分のことになると・・・」「今は整理がつかないことも、じっくり時間を掛けて考えて、乗り越えて行くだと思います。その事を受け入れ消化し、自分の中に取り込んでしまうことでしょうか。みんな同じように経験するんです。お釈迦様は人並みの苦勞なんです。と説かれています。」チョット長く滞在しました。

客殿屋根修理

9月に客殿屋根修理が始まります。長引いた梅雨の関係で7月の工事が延びています。80年以上の風雪の為に、大屋根の各所で瓦の表面がはがれて雨漏り寸前です。秋の彼岸までには瓦の差し替え修理が出来そうです。



日韓関係

隣国にもかかわらず、日本人に理解出来ない事があります。

それは「恨の文化」です。恨とは単なる恨み、辛みではなく、悲哀、無念さ、痛恨、無常観、優越者に対する憧憬や嫉妬などの感情をいう。と解説されています。長い歴史の中で大陸国家に侵略を度々受けた辛さの中で形成された民族的な思いです。一番新しい侵略が日本だったのです。

豊かな国になった韓国ですが、日本という国に対して侵略されたという思いは民族意識としてこれからも潜在的に続くでしょう。

また、文在寅大統領はこれまでの親米・親日的で独裁的な体制・財閥などのさまざまな産物を「韓国社会に積み上げられている弊害」と表して、それを清算しなければ「常識的社会」は具現できない。と訴えて当選されたのですから、日本と折り合いは難しい大統領なのでしょう。日本とのこれまでの合意を全て無効にする“ちゃぶ台返し”。こんなことが世界で通用するんですね～。

この様に見ると日韓関係はこれからも潜在的しこりを持ったままの関係でしょう。

8月下旬の関空からソウルへの飛行機便を検索しました。

チェジュ 5 T ウェイ 3 イースター 4 ジン 3 エアソウル 2
アジアナ 9 大韓航空 10 韓国航空会社 36便
上海 1 エチオピア 1 韓国航空会社以外 2便
ANA 3 JAL 6 日本航空会社 9便

関西空港だけで韓国航空会社は7社・36便を1日に飛ばしています。日本の航空会社は2社・9便ですから4分の1なのです。ツアーキャンセルの影響は韓国の航空会社を直撃することになります。

チェジュ・T ウェイ・イースター・ジン・エアソウルは韓国の格安航空会社です。これらの企業で日本路線が4割を占める現状を考えると日本たたきの政治が韓国国内の経済に悪影響となります。

日韓関係が悪い中で、韓国からのツアーキャンセルが相次ぎ、日本の観光地やホテルは大きな痛手でしょう。しかし、このままの関係が続くと韓国の航空会社が破綻することになるでしょう。その矛先も日本に向けられそうです。

9月の日程

9月20日(金)～26日(木)

秋のお彼岸

9月26日(木) 13:00

秋の彼岸法要

本堂にて

境内・草引きのお願い。9月14日(土)朝6:00より11時間です。(雨天順延)